

まいすてっぷ放課後等デイサービス自己評価（令和4年2月実施）（療育従事者9人中9人回収 回収率

		はい	どちらとも いえない	いいえ	無回 答	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	①	9	0	0		今はコロナ禍で三密を避ける工夫をしている。パーティションなどを使い、なるべくひろいスペースで療育をする。
	②	9	0	0		
	③	8	1	0		駐車場の活用が難しい。
業務 改善	④	8	1	0		送迎がないので、スタッフ間の話し合いは決められた行間の時間で可能。スタッフ同士でPCDAサイクルについて検討するが、月に数回の勤務スタッフなど参画しにくい人もいる。
	⑤	9	1	1		毎年集計したものを確認している。改善が必要な場合は具体的に方法を検討している。
	⑥	9	1	1		毎年おこなっている。
	⑦	1	0	8		行っていない
	⑧	9	0	0		今はオンラインで受講している。
	⑨	9	0	0		保護者情報、相談支援情報、ニーズを把握したのち、標準化されたアセスメントルールを用い、客観的評価を行なっている。その上で計画書を作成する。
	⑩	8	1	0		K-ABC II、DN-CAS、WISC-IV、PVT-R絵画語彙発達検査、フロスティグ視知覚発達検査などの標準化された発達検査等数種類用いる。
適切 な支 援の 提供	⑪	8	1	0		行なっているが、勤務の少ないスタッフもあり、全員ではない。
	⑫	7	2	1		自閉性の強いお子さんなどは、逆に固定した方がいい場合もある。
	⑬	9	0	1		課題は子どものライフステージ上重要なものを1年を通して選択する。
	⑭	8	1	0		月に勤務の少ないスタッフは個別のみ担当のため、グループを経験しない。
	⑮	9	0	0		
	⑯	9	0	0		ほぼ毎日
	⑰	9	0	0		日誌の他、個別カルテにて検証される。
	⑱	9	0	0		
	⑲	9	0	0		
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連	⑳	9	0	0	
㉑		6	3	0		送迎がないので、直接調整する機会がない。保護者や相談支援専門員より情報を得ている。
㉒					9	受け入れていない。

		はい	どちらとも いえない	いいえ	無回 答	工夫している点、課題や改善すべき点など
携	23	6	3	0		相談支援専門員より情報を得ている
	24	9	0	0		
	25	5	1	3		助言を受けてではないが、各学会等の活動を通して、専門職として最新の技術を身につけるようにしている。
	26	1	0	8		日常的に障害のない子どもの集団に属している子どもが多い
	27	5	1	2		代表でしている
	28	9	0	0		ほぼ毎回行う。
	29	4	3	2		本年度は行ってない。今は無理。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	9	0	0		
	31	8	1	0		毎回フィードバックを行い、担当スタッフが丁寧に話を聞き対応している。
	32	0	2	7		個人情報の扱いという点で、他の利用児童のことは保護者には話さないようにしている。今は難しい。コロナのため中断。コロナ対策中で今はできない。
	33	9	0	0		
	34	9	0	0		
	35	9	0	0		
	36	9	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	37	0	1	8		地域に開くことに抵抗があられる保護者や児童もいる。月に2、3回の利用回数なので行っていない。
	38	8	0	1		子どもに関わる時間の多いスタッフは周知しているが、月に数回のスタッフに行きわたっておらず、今後周知したい。
	39	6	0	3		毎年地震、火災、水害の避難訓練をしている。月に数回のスタッフに行きわたっておらず、今後周知したい。
	40	7	2	0		研修はまだないが、資料等について確認している。
	41	9	0	0		
	42	5	4	0		初回面談時に保護者に確認している。アレルギーのある子どもには、摂取可能な食品を確認し、それをご褒美として準備するようにしている。
	43	9	0	0		